

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市新市民病院移転代替	階数	地上9F
建設地	大阪府吹田市岸部新町11番、13番、14番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2016年12月1日
敷地面積	17,814 m ²	作成者	木村 賢悟
建築面積	6,992 m ²	確認日	2016年12月1日
延床面積	39,274 m ²	確認者	松村 正人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (230 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 92%

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
吹田市に計画されている病院である。「市民とともに心ある医療を」の基本理念のもと、患者さま、ご家族など、病院の利用者や職員等にとって快適で利用しやすい環境を実現する計画としている。また、太陽光発電、地熱利用をはじめとした自然エネルギー利用を行っており、環境負荷低減にも大きく貢献した施設である。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音性能のよいサッシを使用している。	・防震構造の導入等、地震時の安全性に配慮する。 ・非常用発電設備の設置等、災害時の設備機器の機能維持を図り建物の信頼性の向上に配慮する。	・外構・屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。 ・地域性材料の採用、空間提供による地域貢献等、地域性に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・BEMSの導入や運用管理体制の整備により、エネルギーの効率的運用に配慮している。	・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材や再利用可能なユニット部材の採用等により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0091

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市新市民病院移転立替工事					
	建設地	吹田市岸辺新町11番、13番、14番					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					4	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	○
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.4	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	4.4	4	
				住戸・宿泊	3.9		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.5		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			5.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.8		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			5.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.8		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			4.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			4.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							